

復習トレーニング 解答

『スポーツ医学【内科】』

1章

- 1 遺伝 環境 環境
- 2 競技 生涯
- 3 内臓脂肪型肥満

2章

- 1 ○
- 2 ×
- 3 ×
- 4 ○
- 5 ○

3章

- 1 酸素
- 2 30 2
- 3 強く 速く 絶え間なく
- 4 保温
- 5 ×
- 6 ○

4章

- 1 ×
- 2 ○
- 3 ×
- 4 ○

5章

- 1 右心房 右心室 肺胞 左心房 僧帽弁 大動脈
- 2 冠 心筋梗塞
- 3 冠動脈奇形 肥大型心筋症
- 4 ○
- 5 ○
- 6 ×

6章

- 1 合成 胆汁
- 2 ランゲルハンス島
- 3 減少
- 4 血液

7章

- 1 糸球体
- 2 ミオグロビン
- 3 外傷
- 4 150
- 5 生活

8章

- 1 ヘモグロビン ヘモグロビン 貧血 ヘモグロビン
- 2 低下
- 3 自己注射薬
- 4 AIDS, エイズ, あるいは 後天性免疫不全症候群

9章

- 1 e
- 2 a
- 3 e
- 4 b

10章

- 1 角質 細胞 真 皮下
- 2 保護 体温調節 吸収 免疫
- 3 長袖・長ズボン 鍔のある帽子 日焼け止め

11章

- 1 産熱 放熱
- 2 肥満者 未順化
- 3 冷却 水分
- 4 ×
- 5 ○
- 6 ○

12章

- 1 栄養素 疲労物質
- 2 自律神経 内分泌 免疫
- 3 主観的 客観的
- 4 アイスバーグ (冰山)
- 5 低下
- 6 疲労 回復

13 章

- 1 排卵
- 2 low energy availability

運動性無月経の要因として、近年 energy availability (食事摂取エネルギーから運動消費カロリーを差し引いた「余裕度」) の概念が注目されている。energy availability が低いほど、月経異常の発生率が高まる。この「余裕度」を増やすことで、月経異常を予防できる可能性がある。

- 3 流早産
- 4 生活習慣病

14 章 (解答例)

- 1 精神医学は臨床医学のなかでは内科系の分野に属し、他の内科分野と同様に疾患を治療する医学の一分野である。多くは治療により治癒するものである。
- 2 (うつ病の回復期のトレーニングについて) 外科疾患と異なり回復への時間的な見通しは正確に立ちにくい。症状の経過を観察しながら競技への参加についてアドバイスを行う。
- 3 パニック障害は決して命に関わる疾患でない、発作の症状は時間が経てば軽快消失することなどについての知識を与える。
- 4 摂食障害と無月経、骨粗鬆症をあわせて、女性アスリートの三徴候とよぶ。

15 章

- 1 国際オリンピック委員会 (IOC) 透明性 中立性
世界アンチ・ドーピング機構, WADA 世界アンチ・ドーピング規定, WADA Code
- 2 日本アンチ・ドーピング機構, JADA
- 3 スポーツ基本法 スポーツ基本計画
- 4 公認スポーツファーマシスト認定制度